

the center
for creative
communications

〒420-0035 静岡市葵区七間町15番地の1 TEL 054-205-4750 FAX 054-260-4550
http://www.c-c-c.or.jp

愛称はCCC。クリエイティブやデザインという視点で、静岡の産業や街の活性化・発展を目指しています。CCC内にあるギャラリーでは、国内外のクリエイターや、アーティストの展覧会、地域の産業の展覧会の開催や、デザイン・クリエイティブをキーワードとしたセミナーやワークショップを開催しています。さらにクリエイターのネットワークを構築し、地域の産業とのマッチング機能やビジネス相談などもおこなっています。



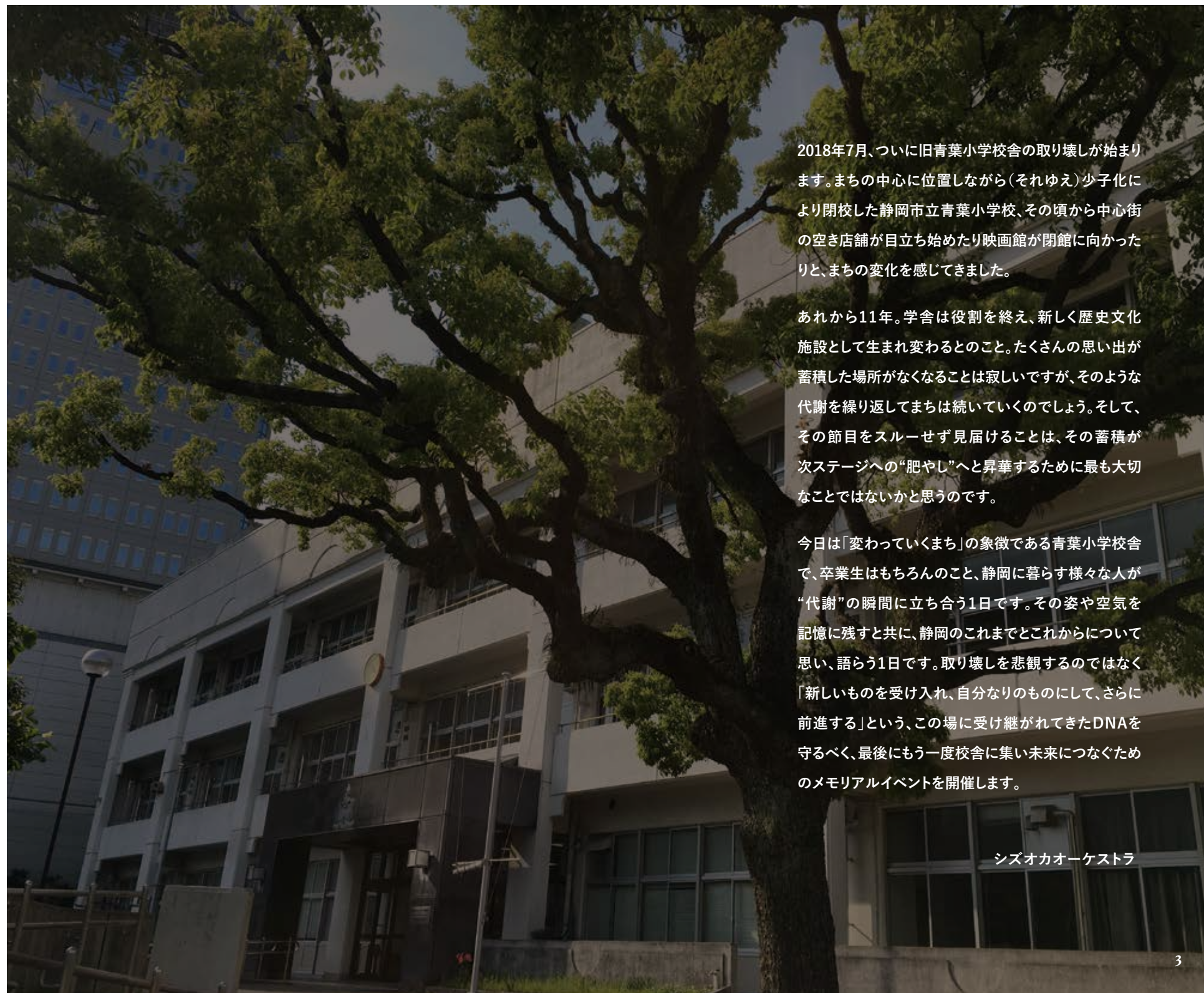
青葉小学校舎、 ラストデイに向けて

終わる。そして始まる。

形を変えて継がれていく、その場所のDNA。

まちの子どもが減って閉校を迎えたあの日から11年。
校舎がなくなるその前に
もう一度「学校」としての1日を。

まちの真ん中で起こる「代謝」の瞬間に立ち会い
そこに集った人々から
新しい何かが生まれる1日を。



2018年7月、ついに旧青葉小学校舎の取り壊しが始まります。まちの中心に位置しながら(それゆえ)少子化により閉校した静岡市立青葉小学校、その頃から中心街の空き店舗が目立ち始めたり映画館が閉館に向かったりと、まちの変化を感じてきました。

あれから11年。学舎は役割を終え、新しく歴史文化施設として生まれ変わるとのこと。たくさんの思い出が蓄積した場所がなくなることは寂しいですが、そのような代謝を繰り返してまちは続いていくのでしょうか。そして、その節目をスルーせず見届けることは、その蓄積が次ステージへの“肥やし”へと昇華するために最も大切なことではないかと思うのです。

今日は「変わっていくまち」の象徴である青葉小学校舎で、卒業生はもちろんのこと、静岡に暮らす様々な人が“代謝”の瞬間に立ち合う1日です。その姿や空気を記憶に残すと共に、静岡のこれまでとこれからについて思い、語らう1日です。取り壊しを悲観するのではなく「新しいものを受け入れ、自分なりのものにして、さらに前進する」という、この場に受け継がれてきたDNAを守るべく、最後にもう一度校舎に集い未来につなぐためのメモリアルイベントを開催します。

シズオカオーケストラ

グリーンドリンクス静岡 × 青葉小学校舎メモリアルイベント

うまれかわりの文化祭

日時 2018年6月17日(日) 13:00-20:00

【出入り自由】 卒業生に限らず、どなたでもご入場いただけます

場所 旧静岡市立青葉小学校

入場無料(一部プログラムのみ有料)

Event Schedule

イベントの様子を撮影し、WEBサイト等での公開を予定しています。ご了承ください。

13:00

14:00

15:00

16:00

17:00

18:00

19:00

20:00

13:00-19:30

寄せ書きボード&ライブペインティング

うまれかわりの樹

【場所】正面玄関

13:00-17:00

しろくまジャムproduce

懐かしの
給食メニューを
味わおう!

【場所】正面玄関

その他、以下の場所でも
飲食物を販売します!

体 育 館 / 13:00 - 17:30
理 科 室 / 13:00 - 18:00
屋上プール / 18:00 - 19:30

13:00-17:00

落書きできちゃう!
学校見学
&
当時何の教室だった
でしょうか?クイズ

【受付】正面玄関

【場所】校内各所

13:30

クスノキの
差し芽をしよう!

【場所】クスノキ前

10:00-17:00

歴史文化施設プレ事業
静岡市企画展

静岡発
近代日本の
はじまり

【場所】2階

16:00-17:30

静岡県郷土唱歌
コンサート&
お囃子・面踊り

【場所】体育館

18:00-19:30

green drinks shizuoka

トークライブ

「代謝するまち」

【場所】屋上プール

19:40頃-20:00

木遣り 【場所】正面玄関

静岡県 郷土唱歌 コンサート

時間 16:00-17:30

会場 体育館

参加費 イス席:500円 / 立見席:無料

予約
不要



昭和のはじめ、静岡県内の子ども達が学校で親しんだ郷土唱歌。一般公募されたという歌詞のテーマは、静岡にゆかりのある人物や名物、土地そのものなど。まさに元祖・ご当地ソングと呼ぶに相応しい曲の数々です。

その後時代に翻弄され歌われなくなってしまった唱歌でしたが、残されていた歌詞と旋律だけの楽譜を手がかりに、現代の音楽家が新たな息を吹き込み、CDアルバム『静岡縣郷土唱歌』として生まれ変わりました。

この校舎へ、最後にもう一度「学校」としての1日をプレゼントしたいという思いと、子ども達に愛された郷土唱歌の歩んだ道が重なり合い、体育館でのコンサートが実現。願わくばこの機会も“記憶の箱を開く鍵(ライナーノーツより)”となり、いつの日か青葉小学校のある風景が、口ずさんだ音楽が、そして今のまちの姿が、どこかでふと思い出されることを願います。

Credit

丸山研二郎 + 空の灯音楽隊 / 静岡縣郷土唱歌(2017) 2枚組 全28曲入り ¥3,500
【制作】T2オーディオ 【取扱店】音楽舎・戸田書店・あべの古書店・子どもの本とおもちゃ 百町森・その他インターネット通販など

記憶は積み重なってゆく。日々の新しい記憶が古い記憶を覆い隠し、遠い過去は想起することが難しくなる。ところが老いが忘却を推奨するようになると、表層の記憶が剥がれ落ち、ふいに「懐かしい光景」が顔を出す。例えば唱歌をうたった思い出である。(中略)唱歌が記憶の箱を開く鍵となり、彼らは忘れてしまった時間を取り戻す。

あべの古書店店主 鈴木大治
CDアルバム『静岡縣郷土唱歌』ライナーノーツより抜粋

出演



丸山 研二郎 / ギタリスト・シンガー・ソングライター・作曲家
様々な音楽を垣根なく融合し、映像・朗読・ダンスなどの舞台音楽も手がける。現在までに「ある海のための音楽」「空の灯」等6枚のアルバムをリリース。

空の灯音楽隊 / 2015年結成。静岡のシンガー・ソングライター、ジャズ・クラシック・和楽器奏者等からなる大編成バンド。超空間的な歌詞とフォークロアな合唱を基本に、素朴ながら雄大な音世界を創造する。

丸山研二郎 + 空の灯音楽隊

マルヤマケンジロウ + ソラノヒオンガクタイ

出演

お囃子・面踊り 青葉小若会 アオバコワカ カイ

毎年、2月から2ヶ月間のお囃子猛特訓。記憶に残る先輩も多いのではないのでしょうか。今もしっかり引き継いでいます。私たち青葉小若会は、4月のお祭りを中心に、地域の行事でお囃子と面踊りを披露しています。昔から変わらないけど、どこか新しい“温故知新”な伝統芸能を頑張って習得しています。



司会・進行

秋枝 伶子 アキエダ レイコ

元NHK静岡放送局キャスター。山口県下関市出身。学生時代、静岡の篤志家集団「アッパレ会」の門前にて地域と共同で課題解決するなど、社会での学びの場を得たことから、静岡の行く末が他人事でなくなる。放送現場で見聞を広め、特に農業分野、お茶の現場を多数取材。現在、日本茶インストラクター資格取得のため勉強中。



『静岡縣郷土唱歌』より

富士登山	徳川家康
蜜柑採	浜名湖
八丁池	富士の裾野
天城山	大井川下り
三保	久能山
富士川下り	天竜川下り
山田長政	小夜の中山

オリジナル曲

グレートマザーの歌

しらさぎの歌

順番・内容は予告なく
変更される場合がございます。
ご了承ください。

僕たちは脈々とつながる歴史の中で生きています。雄大な自然があり、人々の生活があり、進歩によって得られた安全や便利があり、また薄れてしまった情緒もあります。古き良き文化があり、発展のために失われた思いやりもあります。美しく語られる偉人たちの活躍があり、過ちとして心に刻まなければならない争いや因習もあります。静岡という土地にも、また他の、世界のどの土地にも、良きにつけ悪きにつけ、ひとつひとつの出来事のたびに歌が生まれ、時とともに忘れられて来ただろうと思います。

丸山研二郎

CDアルバム『静岡縣郷土唱歌』より抜粋

green drinks shizuoka VOL. 36

トークライブ 「イ代謝するまち」

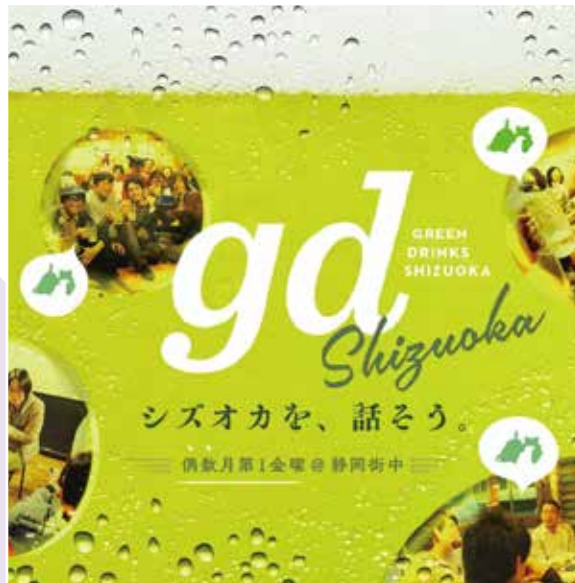
時間 18:00-19:30 会場 屋上プール ※雨天時 体育館
参加費 当日 2,500円 ※1ドリンク・おでん付 (事前予約 2,000円)
定員 60名

“代謝(たいしゃ):生命の維持のために有機体が行う一連の合成や化学反応のこと。(出典:フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』)”

神社、城代屋敷、学校など、様々な姿と役割に変化してきたこの地。時代の波に翻弄されながらも、その度に人々の思いを包み込み、代謝を繰り返してきました。夜のプログラムは、青葉小時代から歴史文化施設という次のステージにかけて縁の深い方々を囲み、思い出を共有しながら“これからのこの場所”を考えるひととき。街中の小学校を象徴する屋上プールを舞台にみんなで語らうこともまた、長い歴史の中で起こる代謝の瞬間として、まちの記憶に刻まれるのかもしれません。

できる限りご希望の方全員にご参加いただけるよう準備をしておりますが、万が一想定を超える数のお申込みをいただいた際は、当日券の販売を中止する場合がございます。予めご了承ください。

屋上は、閉校後の時間経過により一部塗料のはがれや足下の悪い場所があります。十分に注意してご移動ください。



Topic

この土地のDNAって？

青葉小学校を振り返る。

静岡ってどうですか？

歴史文化施設のウワサ。

これからの、この場所。

パネリスト



松井 誠司 マツイ セイジ

昭和21年、長野市の農家に生まれる。学生時代を静岡で過ごすうちに温暖な地に魅了され、そのまま静岡の住民に。小学校の教員生活は36年間、そのうち平成17年～18年の2年間は自身の最終校となる青葉小学校の校長先生を勤めた。座右の銘は「自彊不息(じきょうやまず)」。趣味は、未知の土地を散策したり落語を聞いたりすること。

芦田 光代 アシダ ミツヨ



photo
左:森さん
中央:芦田さん
右:中里さん

株式会社乃村工芸社デザイナー。博物館など展示施設の設計を専門とする。歴史文化施設の業務には、基本計画より参画。座右の銘は「声の大きい人にだまされるな!」。

森 誠一朗 モリ セイイチロウ

株式会社乃村工芸社プランナー。5年間の博物館勤務経験をもつ。岡崎市出身の祖父をもつ身として、家康公に最後に選ばれたまち・静岡に対しジェラシーを感じている。

中里 耕治 ナカザト コウジ

株式会社乃村工芸社プランナー。マーケティング会社、企画制作会社など多様な経歴でありながら、人が集まる場づくりを通して地域活性化に貢献したいという思いは一貫している。

井上 泉 イノウエ イズミ



静岡市生まれ。母校である青葉小学校の閉校を機に「まち」に興味を持ち始め、お酒片手に「静岡」を語らう会・グリーンドリンクス静岡を主宰。2014年にシズオカオーケストラを立ち上げ、静岡のこれまでの文化を知り、耕し、これからの文化を創ることを目的とした様々なまちづくりプロジェクトを企画している。好きな言葉は「寛容」。

司会・進行

伊藤 允彦

イトウ マサヒコ

green drinks shizuoka とは

全世界400都市以上で開催されている“テーマをもった飲み会”。日本でも東京を中心に各地で開催されている。静岡においては「持続可能な静岡」をテーマに語らうプラットフォームとして2010年から開催。まちづくり・ゲストハウス・方言・クラフトビール・東海道・老舗など、トピックに沿ったゲストを迎え、主にトークライブ&交流会の形で実施。市民同士がフラットに語らうことによって、様々な化学反応が起こっている。

<http://shizuoka-orchestra.com/gd/>



落書きできちゃう! 学校見学 & 当時、何の教室だったでしょうかクイズ

時間 13:00~17:00 (最終受付16:30)
場所 校内各所 **受付** 正面玄関

校内を見学しながら、あらゆる所に自由に落書きできちゃいます。学校といえば音楽室や理科室。廊下や教室にもご自由にどうぞ。青葉小学校当時、何の教室だったかを当てるミニクイズラリーも、合わせてお楽しみください!

落書きOKエリアとクイズ対象教室は、次ページからの校内マップに掲載しています!



学校見学&クイズ 参加方法

学校
見学

受付で「落書きしても怒られない夢のようなペン」をご購入ください。あとは思い出を懐かしみながらダイナミックに描いていただくのみです!

ペン購入代金(1本500円)の一部を、イベント運営資金にさせていただきます。



教室
クイズ

受付で配布している「解答用紙」を受け取ったらさっそくスタート! 12ページからの校内マップと帽子マークを目印に7箇所をめくり、学校当時の教室名を考えてください。

全ての解答が揃ったら受付に戻り「丸付け」を。全問正解者(先着100名様)には景品をご用意してお待ちしております!



寄せ書きボード&ライブペインティング

うまれかわりの樹

時間 13:00~19:30 **場所** 正面玄関

小学生時代の懐かしい話や、青葉小学校での思い出、今日の感想を書いていただく寄せ書きボードです。絵師によるライブペインティングが伴走し、1日かけて大きな“思いの樹”に育てます。

丹羽 崇元 ニワ ソウゲン

僧侶、絵師。大学時代に、絵本「物事のいろは」を出版。卒業後、曹洞宗の大本山永平寺へ入山。約3年半の修行を経て禅僧となった後、福井から静岡まで行脚。現在は、お寺を主軸にした新しいコミュニティや、防災拠点・サードプレイスとしての可能性を考え様々な企画を展開している。創作活動も、マイペースに継続中。



絵師

しろくまジャム produce

懐かしの給食メニューを味わおう!

ソフト麺

揚げパン

ミルクケーキ

北街道の人気店「しろくまジャム」が、1日限りの給食係に! 子ども心に戻ることのできる懐かしの「ソフト麺」(限定100食)や、「揚げパン」、「ミルクケーキ」をご用意してお待ちしております! その他、校章ラテアートやコーヒー、各種お飲み物も販売いたします。

飲食は指定のスペースにてお願いします。
(詳細は次ページからの校内マップをご覧ください)

販売場所

販売時間

正面玄関

13:00 - 17:00

ソフト麺 / 揚げパン / ミルクケーキ / コロッケ
※数量限定となります。予定数が終了次第、販売を終了します。

体育館

13:00 - 17:30

飲み物(アルコール・ソフトドリンク)

理科室

13:00 - 18:00

飲み物(コーヒー・ラテアート)

屋上プール

18:00 - 19:30

おでん / 飲み物

Menu

青葉小の校章ラテアートもあるよ!

しろくまジャム

静岡市の北街道で、地元の果物を使った無添加ジャムの製造販売と、併設カフェを営業しています。懐かしいあの頃の思い出に浸ってくださいね。

【珈琲販売】 THE STAND UP cafe ザ スタンドアップ カフェ
<https://www.facebook.com/the.stand.up.cafe/>



写真展 エターナル・グリーン

時間 13:00~18:00

場所 2F教室 and more

入場無料

静岡市出身の女優・伊澤恵美子が、自身が女優を目指すきっかけとなった場所、青葉小学校で「生まれかわり」をテーマに企画した撮り下ろし写真展。独創的な作品でInstagramフォロワー6万人を超える人気写真家、ケンタソーヤングとのコラボレーションに注目。



【企画・モデル】 **伊澤 恵美子** イザワ エミコ



女優。静岡市出身。9歳の時静岡市こどもミュージカルで初舞台を経験。現在は東京で映画やCMなどを中心に活躍中。
<https://www.instagram.com/emikoizawa/>

【衣装協力】 **chubby x eight** チャビーエイツ



<https://www.instagram.com/chubbyeightusedclothing/>

【撮 影】



Kenta Soyoung ケンタソーヤング
https://www.instagram.com/kenta_soyoung/

ポップアップストアも開催!